

季刊 青春本棚通信

vol. 18



** 中学1年・Yさん!表紙イラストありがとうございます! **

LINEUP

『第7回 松山市立中央図書館ビブリオバトル』大紹介!

紹介本を熱いメッセージで凝縮してお届けします!

「ビブリオバトル」ってこんなゲーム!

本好きのコーヒープレイク Withコロナの今、中高生に読んでもらいたい本

青春ひとことLINE ~ 図書館の人にきいてみた ~

青春☆POP便 オススメ本のPOPを作ってみよう!

図書館ダンジョン・エクスプローラー

図書館投稿のススメ

2021

冬



「第7回 松山市立中央図書館ビブリアバトル」大紹介!

10月25日に『第7回 松山市立中央図書館ビブリアバトル』が開催されました!

中学生5名・高校生3名のバトラーたちが、おすすめ本を紹介し、『どの本が一番読みたくなったか』を参加者全員で投票して、中学生・高校生の部ごとに**チャンプ本**が決定しました。そのバトラーたちの紹介本を熱いメッセージに凝縮してお届けします! 同世代がハマる本、ぜひ読んでみてください!



焼きそば

うえだ
さくらももこ



<中学生の部チャンプ本> 『焼きそば うえだ』(さくらももこ//著・小学館)

済美平成中等教育学校1年 大西 真由さんが紹介

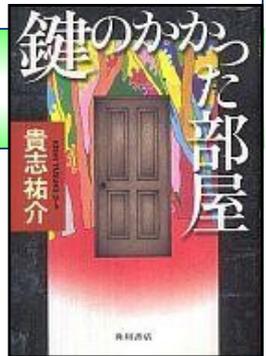
あの有名アニメ「ちびまる子ちゃん」の作者さくらももこさんが書いたこの本には聞いたことのない友情があります。さくらももこさんは「男子の会」という、定期的集まりみんなで他愛のない話をするという会を結成しますが、「植田さん」というメンバーがいます。「私にはたくさん問題があります…」それは①家を引っ越したいがローンのせいで引っ越せない。②男としてかっこ悪い性格で勇気が出ない。③そのため妻と子供に信用されていない。ということ。みんなは考えます。「植田さんはどうしたら幸せに暮らせるだろうか」友情で泣ける場面あり、そして大爆笑もある!?そんな奇跡のような本です。ぜひ読んでみてください!!!

<中学生の部紹介本> 『鍵のかかった部屋』(貴志 祐介//著・角川書店)

松山市立拓南中学校1年 三谷 英二さんが紹介



この本は「防犯探偵・榎本シリーズ」の第3弾です。シリーズは『硝子のハンマー』『狐火の家』『ミステリークロック』の4冊ありますが、『鍵のかかった部屋』では主役の榎本 径と女性弁護士、青砥 純子が密室事件を解決していくトリック4連発の本です。元・空き巣狙いの会田は甥の大樹が練炭自殺したらしい瞬間に偶然居合わせるが、その部屋は完全密室!! 大樹の妹、美樹は悲しみに包まれる中、防犯コンサルタントで本職は泥棒の榎本と、美人で本職は弁護士の青砥先生は「殺人」という。犯人の正体、真実という名の鍵はいったいどこに?!



地底旅行

ジュール・ヴェルヌ
平岡 賢助



<中学生の部紹介本> 『地底旅行』(ジュール・ヴェルヌ//著・光文社ほか)

済美平成中等教育学校1年 青山 和加さんが紹介

主人公のアクセルの叔父で、変わり者のリーデンブロック教授。彼が買って来た本の中の、1枚の暗号をきっかけにして、地底への冒険が始まります。物静かで頼れるハンスと、3人で地底の奥深くへと入り込んでいくのですが…。私が特におすすめしたいのは、移ろいゆく地底の風景です。地球の歴史を物語る化石たち、見渡す限りのきらめく宝石、そして最後に出てくる、壮大で世界を揺るがすような空間…。そんな中を進んでゆく3人の姿にあこがれます。また、彼らの地底からの脱出シーンは必見!ハラハラドキドキ!!

<中学生の部紹介本> 『君の腑臓をたべたい』(住野 よる//著・双葉社)

松山市立拓南中学校1年 日野 蒼さんが紹介



私が今まで読んできた本の中で一番美しい本です。美しさの1つ目は表紙です。本の表紙を見たとき、この本のすべてが表紙に込められている気がしました。女の子の表情や男の子の背中に2人の人生が刻まれている感じがしました。2つ目は登場人物の生き方や考え方です。一人一人が深い意思をもっていました。特に私は女の子の生き方を尊敬しています。3つ目は題名です。最初に衝撃を受けた題名ですが、この本の全てが詰められている気がします。ほかに結末など美しいところがあるので、ぜひご自分の目で確かめてみてください。



<中学生の部紹介本> 『星のカービィ 毛糸の世界で大事件!』

(高瀬 美恵//著・KADOKAWA)

松山市立拓南中学校1年 川村 康祐さんが紹介



この本は子供向けですが、主人公カービィと毛糸の世界の王子フラッフが協力して敵を倒す場面がとても感動します。また、絵がたくさんついてあるので一つ一つの場面が想像できて内容が頭に入りやすくなっています。カービィシリーズはこの本以外にも、戦闘シーンや幸せなシーン、ドキドキハラハラするシーンがたくさん書かれています。カービィの特長、性格、好きな物がわかって、最初は全然わからなくても読むにつれてカービィの全てを知れます。たくさん個性豊かなキャラクターが出てくるのでどんなキャラクターが出るのか見てみてください。





<高校生の部チャンプ本> 「十二国記 月の影 影の海」

(小野 不由美//著・講談社ほか)

愛媛県立松山西中等教育学校6年 米澤 夢芽さんが紹介



異世界に連れてこられた女子高生が剣を片手に戦う話です。読むたびに、「こんなに面白いのにどうしてみんな読まないの!？」と悔しく勿体なくなります。上巻は結構暗いし救いがないのですが、どうか下巻まで読んでほしい。愛読者は口をそろえて「喋るネズミが出てくるところまで読んで!」といいますが、私からもお願いします。喋るネズミが出るまで読んで!! このシリーズ、設定が素晴らしいのですが読まないとわからない。第三者が説明しても面白さが半分も伝わらない。非常に悔しい。何度読んでも飽きるどころかワクワクが増してしまう! 毎回「前より面白かった…」って嘆息してしまう。読み出したら、十二国記のこじか考えられなくなります…!

<高校生の部紹介本> 「君は月夜に光り輝く」 (佐野 徹夜//著・KADOKAWA)



松山城南高等学校3年 木山 翔葵さんが紹介

この本は、恋愛系の本でありながら自分の人生の生き方を教えてくれる本です。人は病気にかかって余命宣告されたら、落ちこみ悲しくなると思います。しかし、ヒロインは友達の前では常に笑顔で楽しそうにして、見ているこちらもし楽しい気分になります。余命宣告されていても人生を楽しく生きようとする姿は、とても素晴らしいと思いました。この本の「死ぬまでにやりたいことリスト」では、外出厳禁のヒロインの代わりに主人公がヒロインのしたいことをかなえます。中には主人公や読んでる自分も心をゆさぶられるような場面もあり、とても感動する本です。



<高校生の部紹介本> 「タスキメシ」 (額賀 滯//著・小学館)



済美平成中等教育学校4年 杉山 千笑さんが紹介

箱根駅伝を夢見る高校生男子3人と、料理研究部の女子高生1人を軸に描かれた物語です。章ごとに視点の人物が変化するので、登場人物に寄り添えるのが魅力です。地の文と会話文のバランスの良さも魅力の一つだと思います。走る時は地の文が多く、孤独感が表れていたり、きれいな情景描写が多かったりします。学校にいたり、料理するときは会話文が多く、楽しさや動機が伝わります。特に伝えたいのは出てくる料理!どれもおいしいそうで簡単に作れます。芸術・スポーツ・食欲・読書と一度に何度もおいしいこの本をご賞味あれ!

「ビブリアバトル」ってこんなゲーム!

ビブリアバトルは気軽に楽しむ『本の紹介コミュニケーション』ゲーム! 読んだばかりの本、推しのバイブル本など友だち同士で紹介し合おう!



ビブリアバトル公式ルール



1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合!

本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。(コミックや雑誌はNGなど) 大事ことは、必ず自分が読んで選ぶこと!



2. 開戦! 順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。

バトラーの持ち時間は厳守! 5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負! 原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ。バトラーのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ!



3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション(質疑応答)します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。



4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか?」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります!

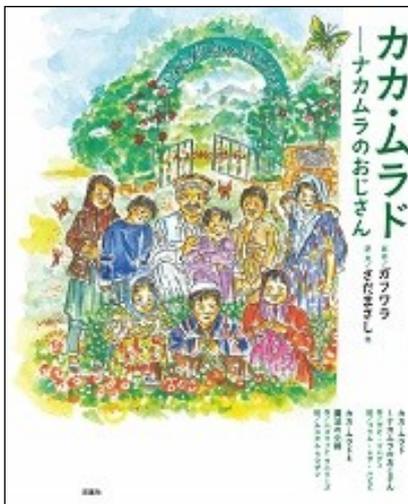
全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと!

若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを――

本好きのコーヒーブレイク



図書館で働くオトナたちはやっぱり本が大好き！そんなオトナたちが一息つくコーヒーブレイクに、「Withコロナの今、中高生に読んでもらいたいな」と思いついた本を紹介します。さあ、あなたも新しい世界の扉を開いてみませんか？



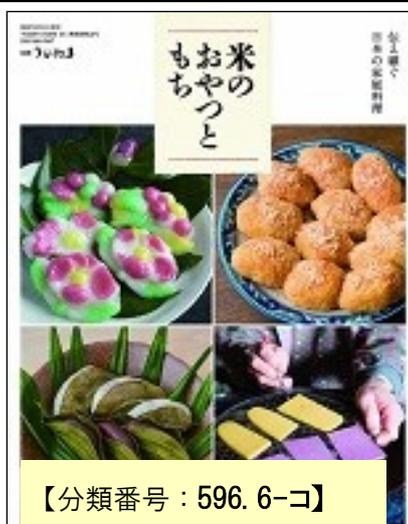
【分類番号：333.8271-カ】

『 カカ・ムラド～ナカムラのおじさん 』 (ガフワラ//原作・さだ まさし//ほか訳・文・双葉社)

アフガニスタンで30年以上人道支援活動を続け、2019年12月4日、銃撃のため亡くなった日本人医師、中村 哲さん。

戦乱と最悪の治安の中で、「100の診療所より一つの農業用水路が大切」と自ら重機を操り、現地の人々と共に砂漠を緑の大地に変えていきました。尊敬と親しみを込めて「カカ・ムラド(中村のおじさん)」と呼ばれた彼の功績と遺志を伝えるためアフガニスタンで生まれた絵本を、歌手のさだまさしさんが翻訳。「自然と人間がいかに向き合い『今、ここで』いかに良く生きるかが最大の関心事」と言っていた哲さんの生き方は、今の私たちに誇りと勇気を与えてくれます。

図書館 藤原



【分類番号：596.6-コ】

『 米のおやつともち 伝え継ぐ 日本の家庭料理 』 (農山漁村文化協会//編・出版)

皆さん、お正月に「おもち」は食べたかな？さて、今回紹介するのは、全国に伝わるおもちと、お米で作るおやつの本です。

おもちの食べ方ってどこでも一緒なのでは？と思いますか？それが違うんですね。沼えびや納豆をまぶしたり、栃の実やおからを入れたり、実にバラエティ豊か。貴重なお米を大切においしく食べようとした知恵と工夫に驚きます。

そしてもうひとつのポイント、レシピ付き！見て楽しむもよし。作ってみるのもよし。遠出できない今だからこそ、日本の食文化の奥深さを、本を通じて体験してみませんか。

図書館 小池



【分類番号：YA-F-二】

『 日本SFの臨界点 恋愛篇 死んだ恋人からの手紙 』 (伴名 練//編・早川書房)

コロナ禍の今、色々制限されてしんどい。ストレスも溜まりますね。そんなあなたにSFです。なぜ。おうち時間が増えたからって読書するだけでも？わかります。でもね、今こそ文明の進歩をもたらしてきた人間の想像力を見直す時。「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる。」は『地底旅行』の作者、ジュール・ヴェルヌの名言です。SF(サイエンス・フィクション)には、その想像力が詰まっている。このアンソロジーは、SF初心者の心をつくり掴み、なおかつSFファンをもうならせる傑作揃い。それはともかく、表紙カワイイから入ってもアリでしょ。怪奇編もありますよ♪

図書館 垣本